

市民の福祉増進と財政の健全化をキーワードとして 地域課題の前進と解決に向け全力を尽くします。



5月11日に開会した第4回市議会定例会の初日、荻原市長は平成29年度の市政執行方針において、市政運営の重点施策及び諸課題への対応などについて説明し、市民の福祉増進と財政の健全化をキーワードとし、芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく諸施策の推進及び第5次芦別市総合計画の目指す都市像の実現に向けて全力で取り組むため、市民の皆さんと市議会議員の皆さんに理解と協力を求めました。

今月は、市政執行方針で示された主な取り組みについてお知らせします。

平成29年度市政執行方針

市政執行方針（抜粋）

私は、本年2月26日に執行された芦別市長選挙により、市長に就任してから2か月余りが経過いたしました。市政に信頼と安定を取り戻すことと合わせ、「市民の福祉増進と財政の健全化」をキーワードとして、市民党的立場で、市民目線に立った市政の運営に努めることを肝に銘じながら、今まで取り組んでまいりました。

今後も市民の皆様並びに市議会議員の皆様をはじめ、関係自治体や関係団体の皆様とも連携を密にして、地域課題の前進と解決に向け全力を尽くしてまいります。

本市の重要課題である人口減少対策に向けましては、「芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく諸施策の推進と、私の市政運営のテーマである「市民の福祉増進と財政の健全化」に向けた諸課題に誠心誠意取り組んでまいります。将来を見据え、市民の皆様に住んでよかった、住み続けたいと実感いただける市政を進めるとともに、市民の皆様並びに市議会議員の皆様との信頼関係を構築しながら、安定した市政と、第5次総合計画の目指す都市像である「人が輝き豊かな自然と共生する 安全安心なまち」の実現に向け、全力を尽くしてまいります。安全安心なまちの実現に向け、全力を尽くしてまいります。一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

芦別市長 荻原 貞

市政運営の重点施策及び諸課題への対応について

農林業の振興

基幹産業である農林業の振興に向け、本市の施設園芸作物が抱える課題解決に対する産地としての戦略を構築するとともに、地元農畜製品のブランド化を図るための取り組みや、農商工連携による6次産業化を推進するための新たな特産品開発を行うなど、芦別市農業振興条例を一部改正し、新たな助成制度の創設により、関係団体等に対する支援を行います。また、本市の恵まれた森林資源の有効活用による新たな産業や雇用の創出を目指し、地球環境に配慮したバイオマス資源のエネルギー化を一層推進するため、木質チップ燃料製造事業者の育成を推進するとともに、将来の木質バイオマス原材料の安定的な確保のため、早生樹の栽培試験に取り組めます。

さらに、道立による林業学校の設置に向けた活動を官民一体となって推進するとともに、林業によるまちづくりの第1歩として、今年度、市内の民有林を購入し、市有林における施業面積の拡大など、循環型森林施業の確立を図ります。

商工業の振興

芦別ポイントカード協同組合がAカードの更新事業を実施することから、市とのポイント連携事業の推進を図るとともに、この取り組みを支援します。

また、市内企業における人材の確保が重要課題となっており、特に、人材不足が顕在化してきていることから、新規学卒者等雇用奨励金交付条例やふるさと就職奨励金交付条例に基づく奨励金制度を活用し、雇用の確保と地元定着を推進します。

さらに、新設した産業振興住宅確保奨励金交付制度を活用した市内企業による従業員住宅の建設及び取得を促し、従業員に対する福利厚生充実による人材確保を支援するとともに、商工会議所との共催により、市内企業の求人に関する合同企業説明会を開催するほか、近隣市町への高校や大学への訪問を通じて、市内企業への人材確保に努めます。

子ども・子育て支援

今年度から市内の私立幼稚園である芦別みどり幼稚園が、子ども・子育て支援新制度に移行することに伴い、国の制度に基づいて、施設型給付事業及び一時預かり事業を実施することから、急を要する一時預かりを可能にするなど、子ども・子育て支援事業の充実が図られるとともに、同園が平成30年度から小規模保育事業を開始するため、国への財政支援に対する要請等を行います。

また、若い世代の出会い創出による結婚支援の推進を図るため、引き続き婚活イベントを実施します。



地域包括支援センターの充実

高齢者やその家族が抱える介護サービスや権利擁護、高齢者虐待、消費者被害に対する不安や疑問などの様々な相談に応じる総合相談支援事業の充実を図るため、本年10月から本庁旧消防庁舎に「地域包括支援センター」を移設し、支援体制の一元化を図り、サービスの向上に努めます。

医師の確保対策

北海道や北海道内の医育大学及び各種医療関係機関等へ医師派遣の依頼・要請を継続して行うほか、道外からの医師確保にも努めるため、全国自治体病院協議会などと連携を図りながら、積極的に取り組みます。



また、全国的に地域偏在や診療科の偏在による医師不足が深刻化している中、必要としている診療科の医師や長期常勤医師の確保が難しいことから、国境なき医師団に所属し他で活動している医師を一定期間雇用するなど、多様な雇用形態により医師確保に努めます。

喫煙対策及び受動喫煙防止対策

喫煙による健康被害を防止するため、妊娠届出時や集団検診受診時、健康相談や家庭訪問などを通じて、喫煙者に対し禁煙に向けた支援を行うほか、未成年者の喫煙防止、受動喫煙防止を推進するため、健康教育や広報・啓もう活動を実施するとともに、本年7月から市総合庁舎のほか、公共施設内の全面禁煙化を実施します。



行財政改革の推進と財政の健全化

地域経済の縮小や地方交付税等の縮減に加え、市立芦別病院や芦別振興公社への経営支援に伴う財政負担の増加など急激に厳しさを増しており、今後、数年のうちに財政調整のための資金である「財政調整基金」、「備荒資金超過納付金」の枯渇が危惧されることから、平成29年度を「財政基盤強化元年」と位置付け、事務事業の見直し、スクラップアンドビルドの徹底、公共施設のあり方及び市立芦別病院の経営問題等を一体的に検討しながら、一層の行財政改革の推進と財政の健全化を重点課題として取り組みます。

このため、本年7月に組織機構改革を行い、新たに専任のセクションとなる「行財政改革推進課」を設け、市民の皆様への行政サービスの充足のバランスも念頭に入れながら、財政健全化に向けた執行体制の整備を図ります。

また、将来にわたり、安定的かつ持続的な行財政基盤の構築のため、収支均衡型の財政構造の確立と、少なくとも財政調整基金を標準財政規模の10%以上の確保を図るための私の決意として、組織機構改革を行う本年7月分から当分の間、自らの給料月額を20%減額する関係条例案を、今市議会定例会に提出させていただき考えをもって、財政基盤の強化、確立に全力で取り組みます。

株式会社芦別振興公社

株式会社芦別振興公社の今後のあり方や市の経営安定貸付金について、これまで市議会の中で積み上げられてきた議論を尊重しながらも、さらに市議会議員の皆様とも真摯な意見交換を行う中で、より最善な方策等を見出してまいりたいと考えておりますので、そのための方策案を今年度中のできるだけ早い段階でお示しできるよう取り進めます。



国設芦別スキー場

私の市長就任以前より、本市の財政状況や利用者の推移等を検討した結果、平成29年度からスキー場運営は休止せざるを得ないとの市の提案に対し、市議会議員の皆様や関係団体の皆様から、スキー場存続に向けた意見が多く寄せられておりましたが、本年3月末の専門業者によるリフト設備の振動検査等の結果、安全性の確保を図らなければならないこと、また、本市の財政状況やスキー場利用者の推移等総合的かつ長期的観点から、スキー場存続を希望される多くの意見を尊重しつつも、苦渋の選択ではありますが、永続的なスキー場事業の継続は困難と判断いたしましたところであり、今後は、必要となる多額の設備改修費用等を考慮し、第1ペアリフトについては、平成31年度までの今後3年間、第3リフトについては、平成30年度までの今後2年間、継続運行することとして、市議会議員の皆様や関係団体の皆様のご理解とご協力を得てまいりたいと考えています。

地域公共交通の確保対策

昨年公表された、JR北海道単独では維持することが困難な線区として、本市の鉄道である根室線も見直しの対象とされていることから、今後、本市を含む沿線自治体で構成する根室本線対策協議会が一体となり、市民生活の足である根室線の維持・存続に向け、関係機関等に対する要請行動を展開するとともに、根室線の活用による地域活性化に向けた取り組みを推進します。

また、地域公共交通機能の向上及び芦別駅前地区の活性化を図ることを目的として、芦別駅前をバス、タクシー、JR等の地域公共交通の拠点とするため、関係企業等との協議を行いながら、芦別駅前の再整備事業を進めます。

市総合庁舎の整備

昭和44年の建設以来48年が経過し、耐用年数の50年をまもなく迎えるようとしており、老朽化が顕著なことに加え、旧耐震基準で建築された施設であることから、市民の皆様への行政サービスや防災対策の拠点としての機能を果たすためにも、長期的な視点での経済性や利便性などにも考慮し、庁舎建替えを視野に入れながら、望ましい市役所庁舎の整備方法等について、今年度から具体的な検討を進めます。



遊休施設の活用等

平成25年度をもって閉校した旧野花南小学校及び旧常磐小学校など、今後、民間による活用方策や売却も視野に入れて検討します。

主な施設の推進

市政運営の重点施策のほか、第5次芦別市総合計画に基づき推進する主な施策については、次のとおりです。

- ◎情報共有・市民参加と協働の推進
- ◎空き家・危険家屋対策の推進
- ◎高齢者・障がい福祉の推進
- ◎広域連携の推進
- ◎防災・減災対策の推進
- ◎介護保険事業の運営
- ◎ふるさと納税の推進
- ◎救急体制の確保
- ◎国民健康保険事業の推進
- ◎一般国道452号等の整備促進
- ◎地域物産の海外への販路拡大
- ◎教育環境の充実
- ◎移住・定住の促進
- ◎観光の振興
- ◎高校・高等教育への支援
- ◎花と木緑化の推進
- ◎生活習慣病予防対策事業の推進
- ◎スポーツ合宿の推進
- ◎住宅環境整備の推進
- ◎母子保健事業の充実

芦別市食育推進会議委員を募集

芦別市では、「第2次芦別市食育推進計画」が平成29年度で計画期間を終えることから、第2次計画の評価と課題の把握を行い第3次計画を策定し食育に関する施策を実施するため、食育推進会議委員を募集します。

会議では、3次計画の目標等や施策の推進について審議し意見を述べていただきます。

食育に関心のある方の応募をお待ちしています。

募集人数	2人
応募資格	①8月1日現在で満20歳以上の方②市内に居住、または在勤・在学の方③応募日現在、本市の他の審議会などの委員を3つ以上兼ねていない方
委員の任期	8月1日～平成31年7月31日
応募方法	所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、健康推進係へ提出(持参、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれか) ※応募用紙を希望される場合は、健康推進係までご連絡ください。また、市ホームページからダウンロードもできます
申込期限	6月30日(金)
選考方法	選考委員会が書類選考により決定し、後日、本人に通知します
その他	①委員には条例に基づく報酬と交通費を支給します②平成29年度の開催回数は、3次計画策定のため6回を予定③開催日時は平日の午後6時から8時を予定

○詳細 健康推進係、電子メール：kenkou@city.ashibetsu.hokkaido.jp

市議会の人事

■監査委員

池田 勝利氏 (新任)
 昭和18年4月26日生まれ / 農業 /
 任期：平成29年4月27日～平成31年4月30日



■委員会の構成

○各常任・議会運営委員会の構成

(◎は委員長、○は副委員長)

所属党派	常任委員会		議会運営委員会
	総務	社会産業	
新星クラブ	○石川 洋一 大橋 二郎	瀧 仁美	○瀧 仁美
政風会	大鎌 光純	○北村 真 樋坂 直紀	大鎌 光純
市民連合議員団	◎小川 政憲	日沼 昇光	小川 政憲
創政会	池田 勝利	田森 良隆	◎田森 良隆
日本共産党	松井 邦男		松井 邦男
公明党		◎吉田 博子	